

国重要文化財 宗光寺山門

指定 昭和28年 本町

守り・伝える・文化財 ⑬



▲全国的に四脚門として最大級の規模

本町の通称そんな小路を北に突き当たると、石段の上に見える堂々とした門が宗光寺山門です。横幅である桁行の柱間が6・06m、奥行である梁行の柱間が4・85mあり、切妻造り、本瓦葺きの屋根をのせ、前後の両脇に1本づつ、計4本の柱で支える形式は四脚門と呼ばれます。

山門は太い木割に「牡丹に唐獅子」などの彫り物が見事な墓股を多く用いるなど、創建された安土桃山時代のおおらかで豪壮な雰囲気伝える三原でも数少ない建築物です。墓股とは、上下の横材の間に設けた束の一種で、上の材を支えるとともに装飾を兼ね、その名前の由来は蛙が足を広げた姿からともいわれます。

この山門は、一般に本郷の新高山城の城門とも、城の大手門を移築したものともいわれますが、寺院の移転、再



来山伸彦さん

問い合わせ先
宗光寺
(☎0848②4719)

建に併せて移築された山門であると考えられます。中世の城門は櫓門といわれ、1階に門、2階に櫓を備えた形式で、支柱が攻撃を受ける外側にさらされる四脚門とは大きく異なります。四脚門は寺院の門に多く、宗光寺山門は、彫り物を施した墓股を用いてあることなどから城門ではなく山門であったと推測できます。小早川隆景は永禄10年(1567年)に三原城の築城を開始し、新高山城の城門など施設を順次、転用しながら、防備を固めるため寺院も三原城下町に移転、集中しました。隆景が父母の菩提を弔うため新高山城内に再興した国真寺は、天正10年(1582年)に移転してその後、宗光寺と名を改めました。山門も城内から移築されたため、城門といわれてきたのではないのでしょうか。

伝承にあるような城門の転用ではないとしても、宗光寺山門は全国的に四脚門として最大級であり、その文化財的価値は変わるものではありません。規模、力強い大きな木組み、細部にわたる芸術的な彫り物、禅宗様の凛とした佇まい、どれをとっても第一級の重要文化財として市民の誇りであり、宝として後世に伝えていかなくてはなりません。(文／文化財保護審議会委員 来山伸彦さん)

地籍調査事業の登記完了

調査地区 久井町山中野の一部

登記完了地番 1番～411番、688番～2284番

調査開始年度 平成17年度

登記完了日 2月8日

※詳しくは市ホームページに掲載しています。

問い合わせ先 農林水産課

(☎0848⑥6123)

固定資産税縦覧帳簿の縦覧

縦覧期間 30日(水)まで(土・日曜日、祝日を除く)8時30分～17時30分

縦覧場所 資産税課市役所本庁2階、各支所の地域振興課

※本人を証明する運転免許証、健康保険証、納税通知書などが必要です。

問い合わせ先 資産税課 ☎0848⑥6032、各支所の地域振興課

税の納期

◎固定資産税・都市計画税第1期

納期限 4月30日(水)

※納税通知書は今月初旬に発送します。

※税金・保険料は納期限までに納めましょう。

あ・と・が・き

春といえど、毎年花見に行きたいと思いつながらチャンスがなく、今年こそは近くの宮浦公園でボボロを見ながら花見でも思っています。三原の桜の名所といえば、約2000本の桜が咲く筆影山を思い浮かべる人も多いと思います。三原市では今年度、筆影山・竜王山を題材とした全国規模の写真コンテストを開催します。全国規模という自分には無理と思う人もいるかもしれませんが、筆影山から見る四季折々の多島美を写真におさめるだけでも、三原の魅力のひとつを感じてもらえると思います。まずはカメラ片手に筆影山でお花見をしてみてはいかがでしょうか。きっと何か新しい発見があるかも。春らしい雰囲気にと、今月はペー



三原市の人口

(2月29日現在)

世帯数 43,713世帯 (+262)

人口 104,616人 (-622)

男 50,233人 (-284)

女 54,383人 (-338)

()内は前年同月との比較

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。